

●暖かい日差しに春の気配を感じます。

まだ冬の寒さが身に染みますが、一方で、時折感じる暖かな春の日差しが春の訪れを予感させます。立春とはいえ、まだまだ寒いこの時期。暖かい格好で公園を楽しんでください。

○早春に先駆けて咲く梅の花

■梅林には25本の梅が植樹されています。まだ若い木ですが、古河公方公園づくり基本構想に基づき、樹木医の指導のもと剪定を行っています。1月中旬にはちらほら咲き始めていた梅の花も、そろそろ多くの花を咲かせることでしょう。早春に花を咲かせる梅は、朝がおすすすめです。さわやかな朝の光を浴びて、良い香りが一面に広がります。みなさんもぜひ、梅の花・香りをお楽しみください。



①ウメ

○筑波見の丘から望む筑波山



②筑波見の丘から見える筑波山

■筑波見の丘のふもとに立つ地名碑には、「この丘の頂に立つと、天神橋の裏に、筑波山を望むことができる。」と記されています。現在、筑波山を見ることができるのは木々が落葉した冬の時期だけです。左の写真の中心あたりに目を凝らすと、木のあいだから筑波山のシルエットが見えます。みなさんも筑波見の丘に登って、筑波山を見つけてみてはいかがでしょうか。

○ふわふわなつぼみを探してみよう！

■フワフワの毛をまとったつぼみの代表的なものがコブシやネコヤナギ。寒さを乗り越えるため、春の訪れをじっと待つ姿がとてもかわいらしいですね。園内に何本かあるので、みなさんもぜひ見つけてみてください。



③コブシ



④ネコヤナギ

●立春とはいえ、まだまだ寒い季節が続きます。暖かい服装で公園を楽しんでください。

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索



○天神松・胞衣(えな)の松

■公方様の森の西側、天神橋の付け根の南北に、胞衣の松・天神松がそれぞれ植えられています。冬の時期は、それぞれの松の周辺にある木々が落葉するので松の姿がはっきりわかるようになります。

胞衣とは、母の胎内にいる胎児をくるむ膜と胎盤のことで、胞衣の松は子供の成長を祈願するものであります。また天神松は、鷹見泉石(たかみせんせき)の記した鴻巣村絵図にもその樹形までもがはっきりと描かれていて、見事な松であったことがうかがえます。はっきりした位置までは記されてはいませんが、絵図を参考に、鴻巣御所があった場所の近く植えられました。二本の松をみながら鴻巣御所があった時代を想像してみてもいいかもしれません。



⑤胞衣の松



⑥天神松

■相ノ谷橋改修工事■

2月1日～3月11日まで、相ノ谷橋の改修工事を行います。通行する際はう回路をご利用ください。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、お願いいたします。

